

子供も大人も 学びあい みんなで育つ はばたき子ども広場

岩手県北上市

活動名

はばたき子ども広場による活動

関係する学校

黒沢尻西小学校

※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）

活動区分	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
土曜日の教育活動							
学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
放課後子供教室	コーディネーター	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	1人	19人	67日	無	有	無	有
コミュニティスクール	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
	余裕教室、体育館、アッセンブリホール			19年度	連携型		
	指定日			委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要・経緯

北上市立黒沢尻西小学校区では、平成8年から黒沢尻西公民館が中心となって小学校の空き教室を活用し、高齢者との世代間交流を行う「余裕教室活用事業」を実施した。その後、子供の居場所づくりに対して高い関心を持つ同地域内において、黒沢尻西地区自治協議会が「はばたき子ども広場」を立ち上げ、平成19年度から放課後子供教室推進事業を開始した。

「はばたき子ども広場」は、月曜日、水曜日及び土曜日の週3回の活動を基本として開催している。

月曜日と水曜日は黒沢尻西小学校の余裕教室や体育館等を活動場所とし、学習（宿題などの）指導やNPO法人（フォルダ）の指導による運動遊びなど1・2年生を対象とした放課後の安全・安心な居場所を確保している。土曜日（月に1～2回）は、黒沢尻西地区交流センターを拠点に全学年を対象として多彩な体験学習（ボウリング、陶芸、親子料理教室、農業体験など）を行っている。

実施に当たっては、地域団体や地域ボランティア等の多大な協力を得ており、地域ぐるみで子供の居場所づくりを支える仕組みが構築されている。

特徴

【特徴的な活動内容】

月曜日と水曜日は、宿題などの勉強をし、その後に自由遊びやレクリエーション、ニュースポーツ等の遊び・交流活動を中心に行っている。土曜日は1年生から6年生までを対象として多くの体験活動を行っている。年度によっても異なるが、グラウンドゴルフ、豆腐づくり、茶わん作り、お茶会、消防体験、キャップハンディ体験などを実施してきた。また、毎年、地域の大人から謡曲を学び、市民芸術祭や地区の文化祭で発表するなど伝統文化を大切にしながら地域一丸となった学習活動を行っている。地域の大人から子供へ伝統文化や作法・礼儀を継承する場にもなっている。

【実施に当たっての工夫】

「はばたき子ども広場」の運営に当たっては、地域の人々や様々な組織・団体（老人クラブ、レクリエーション協会、体育関係団体、女性団体、健全育成会、社会教育団体、民生委員団体、小学校PTA、ボランティア協議会、NPO法人など）と積極的に連携をしながら進めている。

そして、地域の個人ボランティアが安全管理員や学習アドバイザーとして協力している。地域人材を活用し、地域ぐるみで事業を運営することによって、子供と大人の交流や子供の居場所づくりを通じた地域づくりへとつなげることも意図している。

事業を実施して

地域の協力を得て運営を進めてきたことから子供同士の交流の場とすることに加え、子供と大人との交流が促進されるとともに、子供の居場所づくりという目標に向かって地域住民や各種組織・団体相互の絆が強化されてきている。

また、活動の様子や児童の声を掲載した機関紙「はばたきだより」を学校・家庭・地域へ配布して情報提供したことにより、更に保護者や地域社会からの理解が得られ、体験活動や関連事業への参加者が多くなった。



開校式。
活動を支えるたくさんの地域ボランティアの紹介の様子。



平日は学校の余暇教室で勉強をしてから遊ぶ。
わからないところは、地域の人々が教えてくれる。